

今月の特集ラインナップ

世界の神話・日本の神話の「教養」

- 世界の神話の中で異彩を放つ日本神話の世界観
(鎌田東二)
- ケルト神話とは…ダーナ神族、アルスター神話、フィアナ神話
(鎌田東二)
- 2700年前のホメロスの叙事詩が感動を与え続ける理由
(納富信留)
- 「神々のささやく世界」では神々の声が行動を決める
(本村凌二)



世界各地の文化や価値観を深く知るために「神話」ほど本質的なものはありません。さらに神話の物語を知ることで、人間の心の奥底までをのぞき見ることができます。神話の教養は自分自身にとっての大きな財産になること間違いなしです。

人間から考える「昭和の戦争」

- 「五族協和」に命を懸けた小澤俊夫・征爾・幹雄兄弟の父
(小澤俊夫)
- 『きけわだつみのこえ』を読むと今でも涙が止まらない
(野田一夫)
- 激しい対空砲火の中、着陸に成功した「義烈空挺隊」の最期
(渡部昇一)
- 悲惨な末路につながった東條英機内閣での兼職と省庁再編
(片山杜秀)



戦争を「歴史的事実」としてだけで見ると、そこに「人間」がいるという大切なことを見落としてしまいます。様々な立場で戦争の時代に生きた人たちが考えたこと、行動したこととは何だったのか。そこから戦争の真実が見えてきます。

日本人の「深層心理」の不思議

- 甘えは日本人だけ? 名著『「甘え」の構造』への2つの誤解
(与那霸潤)
- 実は今、「幸せにも気をつける」べき時代になっている
(前野隆司)
- なぜ今「心理的安全性」なのか、注目を集める背景に迫る
(青島未佳)
- 同調圧力で何も言わない若者、日本のタテ社会の問題点
(小宮山宏／長谷川眞理子)



甘えは日本人だけの特徴? 日本の幸福度は先進国中、最下位? 同調圧力は日本社会の問題点? など、そう感じているわけではないのに、そういわれることが多い日本人の不思議。誰もが気になる日本人の「深層心理」、その実態に迫ります。

組織を活性化する「攻めのリスク管理」

- 増え続けるハラスメント…その背景としての職場の特徴
(青島美佳)
- 「コンプライアンス=法令遵守」ではない…実例が示す本質
(国廣正)
- オーバーアナリシス、オーバープランニングを「直觀」で破る
(田村潤)
- 『逆・タイムマシン経営論』が訴える「同時代性の罠」とは
(楠木建)



組織を真に活性化するためには、一步引いて守りを固めることも重要。しかしそれは、ともすると後ろ向きだと思われがちです。むしろ「攻め」の姿勢でリスクを管理するためにどうするか。時代や社会の流れとも一体化した戦略を学びます。

人体最強の臓器「皮膚」のふしきに迫る！



梶島健治

京都大学大学院 医学研究科皮膚科学教授

「かゆみ」の正体を科学する！最新研究で迫る皮膚の仕組み

- 12 土** 皮膚は目に見える非常に重要な臓器であるにもかかわらず、その仕組みはよく分かっていませんでした。しかし近年の研究で、体内的臓器を守るものとしてその重要性の認識が増しているのです。第1話では「かゆみ」の仕組みについて解説します。

ハラスメント防止に向けた風土づくり



青島未佳

一般社団法人チーム力開発研究所 理事

増え続けるハラスメント…その背景としての職場の特徴

- 13 日** 職場におけるハラスメントが社会課題になって久しい。その種類はパワーハラ、セクハラだけでなく、マタハラ、バタハラ、ケアハラなど増えています。中でも近年、最も問題になっているのはパワハラ。そこにはどのような背景があるのでしょうか。

飽食時代の「選食」のススメ



堀江重郎

順天堂大学医学部・大学院医学研究科 教授

世界で20億人以上が肥満…飽食から選食へ大事な3カ条

- 24 木** 肥満者の数は世界全体で増加の一途をたどり、健康リスクも叫ばれる昨今。そんな飽食の時代に必要な食への向き合い方として、堀江重郎氏が提案するのは「選食」です。食事の質と量を見極める選食とは、具体的にどのようなものなのでしょうか。

テンミニッツTVの講師ってどんな人？

今回は、河合祥一郎（かわい・しょういちろう）先生を紹介いたします。河合先生は第23回サントリー学芸賞受賞の『ハムレットは太っていた!』（白水社）はじめ多数のシェイクスピアにまつわる書籍を発刊されているほか、日本シェイクスピア協会会長（2019-2020）もお務めでした。何より、河合先生ご自身が演劇プロジェクト（Kawai Project）を立ち上げて新訳・演出を担当し、原文の真の面白さを伝える公演を行なっておられます。だからこそその圧巻の講義です。



河合祥一郎

東京大学大学院
総合文化研究科教授

中西輝政

京都大学名誉教授／歴史学者／
国際政治学者

プーチン、習近平、トランプ…リーダーの「終わりの始まり」

- 1 火** 世界では政治の世代交代が起こり始めていますが、それは同時にプーチン、習近平、トランプというリーダーの率いた時代の「終わりの始まり」でもあります。この期に危機にさらされているものとは。



河合祥一郎

東京大学総合文化研究科教授

最も素晴らしい愚行は恋愛…シェイクスピアの喜劇世界

- 3 木** 「人間の最も素晴らしい愚行は恋愛」——過ちを犯すことが人間の本質。その愚かさを寿ぐ（ことほぐ）シェイクスピアの喜劇世界を、「夏の夜の夢」「お気に召すまま」などを通して解説します。



曾根泰教

慶應義塾大学名誉教授／テンミニッツTV
副座長

激変する現実を理解し普遍化するために優れた解説者が必須

- 5 土** 学問には時代や地域を越えた普遍性がありますが、国際社会の荒波の影響を受けると、学問自体が変化しなければいけません。そうした中で必要なのは優れた解説者の存在です。



鎌田東二

京都大学名誉教授

「悲しみのディアドラ」と死後の世界ティル・ナ・ノーグ

- 6 日** 同じ島国で発達してきたケルト神話と日本神話。その地理的特徴から悲哀、悲劇、もの悲しさという共通点を見いだすことができます。それぞれの神話では何が語られているのでしょうか。



毛内拡

お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系
助教

脳の「やる気スイッチ」ドーパミンが大きな社会問題！？

- 7 月** 脳の中にある4つの情報伝達方式で特に注目なのは、気分や生理の制御に関わる広範囲調節系。その仕組みについて、そこで働くセロトニンやドーパミンの詳細とともに解説します。

今後登場予定の新講師&新講義

◆山浦一保

(立命館大学スポーツ健康科学部教授)
テーマ：武器としての組織心理学

このほか、新講師である浜崎洋介氏（文芸批評家）の講義（テーマ：小林秀雄と吉本隆明）を8月中旬から、島田晴雄氏（慶應義塾大学名誉教授／テンミニッツTV副座長）の新講義（テーマ：半導体から見る明日の世界）を8月下旬から、それぞれ配信開始予定です。ご期待下さい。